

# 市民の税金使ってまちを壊してはならない

12月議会一般質問より 住田

まちづくりへの投資が、市民生活を困難にする結果になれば問題がある。しっかりと検証もし、市が責任ある対応をしていくべきだ。特に中央北地区整備への税金投入は慎重にすべきである。定例議会・一般質問で住田は問題点を浮き彫りにし、議論しました。

## 中央北地区整備事業

事業概略（10年間）

総事業費 92億8300万円

事業収入計画。

国支出金25億2800万円

保留地処分金12億9200万円

市負担金54億6300万円

事業計画

区画道路・都市計画道路建設。都市公園。事業に伴う移転補償。公共下水道。土壤汚染対策。火打前処理場解体など。

## 中期財政計画より

平成24年から28年の5年間で基金を取り崩しても36億2200万円の收支不足になる。

国の「税と社会保障の一  
体改革」で市として増税を予定している。

学校耐震化、中央北地区整備はする。



問題1. 集客施設誘致で、駅前、周辺商業者へ打撃的な影響を及ぼすおそれあり。

中央北地区は、「区画整理事業」が認可され、22.3へクタールで本格的に事業に入る段階にきました。

これまでに市税250億円以上を投入、これから総事業費で92億円投入予定（左の表参照）です。

しかし問題点が横たわっており、中でも集客施設用地は地権者が自分たちの土地を集約し、大型小売店誘致で動かれています。問題はその出店が駅前や周辺商店と競合し、古い施設がつぶれていくのではないか。それは町の寂れにもなっていきますし、住民の利便性も壊されることになる。大切な税金を多額投入して、そんな結果になるなら問題だと質問しました。（答弁は裏面に）

問題2. 医療施設誘致で、市内医療機関へ悪影響を及ぼすのではないか。

中央北地区に医療施設を誘致し、次世代型まちづくりをすると説明があった。市民の身近なところに病院と買い物できる施設があるのは心強いことであり、その方向でまちづくりをすべきと私も思っています。しかしながら、中央北地区に必要なのかの説明なし。

隣に民間の総合病院があるのに、さらに市立川西病院の経営を健全化する取り組みをやっている最中に、新たな「医療機関」とは市立川西病院をつぶしかねないのではないか。（答弁は裏面に）



よし  
くらしの  
**「由さん」の 便り**  
2011年12月 283号

川西市議会議員（日本共産党）

**住田由之輔** すみだよしのすけ

連絡先・下加茂 1-24-23

ケイタイ 090-9283-6739

# 10年間で62件の人身事故。市道11号線（南花屋敷）の安全対策を緊急にとるべき

都市計画道路・南花屋敷線の廃止が決まりました。廃止理由の一つに近隣に整備されている市道11号で代替できるからということです。

ところが建設され30年ぐらいになる11号は歩道など安全整備がされていません。周辺住民から改善の声が上がっています。

道路幅は8メーターばかりあるが歩道が50センチぐらいしかなく、高齢者にとっては危なくて歩けない。もちろん車椅子は通れません。

市が警察に問い合わせると1キロ余りの道路延長ですが、10年間に人身事故だけで62件も発生。死亡事故も起きています。道路は曲がっているだけでなく高低差もある構造。通勤、通学者が頻繁に横断するのに、信号間1キロに信号機がありません。安全対策を緊急に対応すべく訴えました。

歩道拡幅を含め安全対策を検討するとの答弁でしたが、早期に具体化すべく要求しました。

## 国有地を公園に、住民の願いかなえよ (久代4丁目・合同宿舎など廃止跡地活用)



地区内に一つも公園がないという久代4丁目。以前は国有地の空き地でボール遊びなどできていましたがここ10年閉鎖され使うことができず、遊び場がまったくありません。それだけに地域住民から広場の確保要望が強く出されています。

老朽化した公務員宿舎の統廃合が進み、久代官舎は廃止に。空地を含めて3ヘクタールの活用が可能になりました。

### (表面の続き)

答弁で、市は区画道路等を建設することであり、上物は地権者が設置するもので、市としては地権者が誘致した施設と周辺商業者と「相乗効果が上がることを期待する」と、何とも無責任な発言をしました。

92億円も投資をする事業で、その95%は税金で賄う事業でありながら、「市として口出しできない」を暗に認め、税金だけ投入し、あとは知らないといっているようなものです。こんなことで市民の税金が使われていくわけで大きな問題です。→

国有地を売却するときはまず存在する市や県に活用するかどうか聞いてきます。川西市と県は活用の意思を示していません。せっかくまとまった土地であり、例えば中央北地区の土地を売却した利益でこの土地を買収するとか、燃料譲与税が4億円交付されており、これを活用するとか手はあると提案しました。

残念ながら市として動くことはしない答弁でした。地域住民の声は無視。

→医療施設もどのようなものが作られるかこれから「参入してくる民間事業者の意向」を参考にしてやっていくというものです。これもまた、市として主体性のない取り組みです。

民間事業者は儲け本位で事業をするわけですから、隣の総合病院がどうなろうと、市立川西病院が行き詰ろうと関係なく事業を進めるでしょう。困るのは現存する病院へ通っている患者であり、周辺住民です。

これもまた大きな問題です。市が主体的な方向性を持っていないために税金が無駄に使われる恐れが浮かび上がってきました。